

問う！
ココを
市政の

一般質問

市さまざまな施策や課題等について、議員が自身の提案も含めて市の考えを質すのが一般質問。
12月定例会で出された「89」の質問から、厳選した内容をダイジェストで紹介します。

子育て・住環境の充実

はまなすの丘の存続 p.10

認定こども園の保育士 p.11

子どものメディア利用 p.12

自治公民館の維持管理 p.14

災害対策

地域防災計画 p.12

教育力の向上

GIGAスクール構想 p.13

通学支援の拡充 p.14

本紙掲載以外の質問については、各議員のページに設置している QR コードから YouTube でご覧いただけます。

安全安心のまちづくり

交通事故防止対策 p.10

その他

市長の今年の漢字 p.7

物価高対策について p.8・p.11

能美市立地適正化計画 p.8

能美根上駅西口駐輪場 p.9

農業基盤強化 p.9

観光政策 p.13

15名が登壇

詳しい内容は
こちらから



※12月定例会の会議録は
3月上旬に公開予定です

A Q 今年一年を振り返り、井出市長の誕生二十周年の節目を迎えて、多くの事業に取り組んでまいりました。また、10月に行われた市議会議員選挙の結果、女性議員が倍増となり、国においては、日本史上初の女性総理大臣の誕生、県においては、全国初となる正副議長に女性が就任をさ

答弁 「始」
今年の漢字一文字は
井出市長の
今年の漢字一文字は
A Q 今年一年を振り返り、井出市長の誕生二十周年の節目を迎えて、多くの事業に取り組んでまいりました。また、10月に行われた市議会議員選挙の結果、女性議員が倍増となり、国においては、日本史上初の女性総理大臣の誕生、県においては、全国初となる正副議長に女性が就任をさ

こんな質問も
健全な財政運営
除草管理の徹底



始

▲市政の節目を捉えての「始」

私はこう考える！討論で「賛成」「反対」

議案第100号

能美市辰口福祉会館条例の一部を改正する条例について

反対

佐伯 富美子 議員（日本共産党）

高齢者福祉の後退につながる

物価高で苦しむ市民に対して、これ以上の負担を押し付けることは高齢者福祉の後退につながるため反対である。

賛成

中野 廣志 議員（創生のみ）

入浴料値上げの必要性は理解する

物価高騰により、施設運営にかかるコストが全て値上がりしている。入浴料の値上げ率に見合ったサービスの向上を期待。

議案第102号

能美市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例について

反対

佐伯 富美子 議員（日本共産党）

保険料の徴収方法を工夫すべき

保険料の支払い合計は同じだとしても3ヶ月を0円にして後の9ヶ月で支払うとなると、支払いにくくなる市民もいるはず。

賛成

中野 廣志 議員（創生のみ）

職員の事務量軽減となる

保険料納入額の概算計算をせずに確定計算の作業のみとなり、職員の負担が減る。市民が困惑しないよう周知を徹底すべき。

賛成少数で不採択

老人保健施設「はまなすの丘」の存続決議を求める請願書

令和7年第2回能美市議会定例会で縮小・廃止が議決された老人福祉施設「はまなすの丘」は能美市に欠かせない公的施設である。能美市議会においては、国や県と能美市に対し医療や介護事業を支える責任を果たさせるために、「はまなすの丘」の存続を決議するよう請願するもの。

請願者：老人保健施設「はまなすの丘」の存続を求める会 代表 小山 比朗志

紹介議員：佐伯 富美子

12月定例会 議決結果と議員の賛否

議案30件・請願1件のうち

賛否が分かれた議案

○：賛成

×：反対

議決結果

山崎
主税
牧野
緑
山本
中野
荒井
昌宏
中村
澤田
今尾
眞司
卯野
修三
仙台
謙三
山本
田中大佐
大修
南山
修一
東
正幸



全議案の議決結果は
市議会ホームページで
公開しています

能美市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

能美市特定乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

能美市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例について

能美市辰口福祉会館条例の一部を改正する条例について

能美市老人福祉センター条例の一部を改正する条例について

能美市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例について

老人保健施設「はまなすの丘」の存続決議を求める請願書

● 能美保守の会 ● 創生のみ ● 流和のみ ● 公明党 ● 清風 ● 日本共産党 ● 会派・漸進 ● のみの虹 ● 無会派



物価高対策を実施せよ

答弁 応援特典券を含め早急に検討する

Q 物価高対策に国の重点支援地方交付金を活用して、「のみ応援特典券」を再度配布できないか

A のみ応援特典券事業は、店舗・施設への支援、市民への家計負担軽減で、双方から高い評価を受け、地域経済の活性化に大きく貢献していることが示されているので、のみ応援特典券を含めた物価高対策事業について、早急に検討していただきたい。

Q 3月にスタートしたデジタル地域通貨能美トチボの普及が約5%と伸び悩んでいるが、今後の展開は

A 認知度の低さやスマートフォンの操作方法等の課題



卯野修二議員
能美保守の会
会長

題解決に向け、わかりやすい登録サポートを継続的に実施、そして健康増進アプリ能美ヘルスとの連携や、二次元コード読み込みによるポイント付与機能を整備した。今後も利用できる店舗を拡大していきたい。



▲令和7年4月～7月に実施した「み応援特典券」

立地適正化計画策定の進捗状況は完了する見通し

答弁 令和9年度末までに完了する見通し

Q 策定する必要性は何か

A 本市でも将来的に人口減少や高齢化が懸念され、住宅地や商業施設が分散し人口密度が低くなると、スーパーや診療所、金融機関等が維持しにくくなり、日常生活が不便になる懸念がある。こうした将来を見据え「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」を実現させるために、都市構造の方向性を示す計画の策定が必要である。

Q 学校や公共施設の老朽化に伴う建て替え、能美市立病院の再整備等は、都市機能誘導区域に集約するのか

A 基本的に都市機能誘導区域を考慮して立地を検討



中村純子議員
会派・漸進
会員

する方針である。ただし、各施設が担う役割や地域の特性に配慮して、地域バランスを考えた配置を検討する。能美市立病院については、あり方検討委員会の結果を踏まえ、本計画との整合を図りながら整理する。



▲立地適正化計画のイメージ図

能美根上駅西口青空駐輪対策を問う

答弁 駐輪ラック機器を移設して対応する



中野廣志議員
創生のみ

A 駐輪場の放置自転車があふれ、青空駐輪が目立つ状況への対策を問う



▲青空駐輪が目立つ駅西口

Q 駅西口駐輪場の自転車があふれ、青空駐輪が目立つ状況への対策を問う

A 駐輪場の放置自転車については、令和6年度は22台、令和7年度は32台を関係法令等に基づき撤去し、その台数の半数以上が西口南側駐輪場であることから、駐輪場内のスペース確保の支障にもなってい急な対応が必要と考えている。

当面は、掲示物等により駐輪場への誘導、駐輪マナーの注意喚起、駐輪禁止区域の周知を行っていく。また、現在、駐輪

スペースに余裕のある駅東口北側駐輪場に設置してある駐輪ラック機器を駅西口南側駐輪場へ移設し、放置自転車の処分と併せ駐輪可能台数を確保したいと考えている。今後とも、引き続き駐輪状況の実態把握に努め、適切に対応していく。

今回、青空駐輪の指摘を受けている場所は、本来、歩行者通路のため、自転車を止めることで通行の妨げとなってしまい、通行の妨げとなってしまい、早急な対応が必要と考えている。

当面は、掲示物等により駐輪場への誘導、駐輪マナーの注意喚起、駐輪禁止区域の周知を行っていく。また、現在、駐輪

農業基盤強化の具体的な施策は

答弁 営農のための農業基盤強化の具体的な施策は



田中大佐久議員
能美保守の会
会員

A 能美市では、具体的な施策として、国の支援制度等の採択に向け、地元と十分な協議を通じ事業化を図るほか、小規模修繕や緊急の対応に必要な経費の一部支援を行い、地域での円滑な維持管理を後押ししている。また、スマート農業に対する農業機械の購入補助についても、今年度、事業メニューを拡充している。

Q 本市における土地利用計画は都市計画マスターープランの中で見直しが行われておらず、都市計画基礎調査や農林業

センサス、商業統計調査、工業統計調査等を活用し、本市の現状と将来推計を踏まえて分析を行っている。農地、住宅地等のバランスを反映させ、持続可能な都市の発展に繋げていく。

Q 社会情勢に応じた土地利用計画について問う



▲秋の収穫風景

子どもと高齢者の 交通事故対策は

答弁 地域の安全性
向上に努める



東 ひがし
正幸 まさゆき
能美保守の会
議員

Q 通学路対策でのゾーン30
とグリーンベルトの状況
と効果を問う

A 宮竹町においてゾーン30
プラスを導入し、減速を
促す物理的な仕掛けによって速
度低下の効果を確認している。
グリーンベルトの効果として、
運転手に通学路の存在を視覚的
に認識させることで速度抑制・
接触事故防止が期待される。

Q 見守り隊活動の課題と解
決策を問う

A 平日朝の時間帯以外にも
協力できる人材を発掘し
依頼できないか検討している。

Q 転者による事故原因と事
故防止対策について問う

A 警察の分析では、加齢に
伴う操作力の低下やペダ
ルの踏み間違いが主な要因であ
ること。市では免許返納者
へのみバスのフリーバス券を最
長3年間交付する制度や運転す
る高齢者には車の安全装備の補
助を行い防止策を図っている。



▲ゾーン30プラスの路面標示とポール

市民への物価高騰 対策について問う

答弁 物価高騰対策を
早急に講じる

Q 市民への物価高騰対策と
して国の予算成立後に出来
るだけ早い補正予算対応が求
められる。市としてどのような
対応を考えているのかを問う

A 物価高騰が長期化する中
食品価格の値上げは10月
に約3000品目に達し、消費
者物価指数も前年同月比3%上
昇するなど高水準が続いてい
る。米やエネルギー価格の高止
まりに加え、電気・ガス料金支
援の一時終了により、家計や事
業者への影響は深刻である。

市では、国の経済対策を待た
ず、医療・福祉施設や公共交通
、学校給食への支援を行ったた
め補正予算を計上しており、こ
れまで応援特典券事業やデジタ
ル地域通貨事業、給付金支給な

ど切れ目のない支援を実施してき
た。国・県の施策を注視し、重
点支援地方交付金を活用しなが
ら、家計支援と市内経済の活性
化に向けて迅速かつ効果的な物
価高騰対策に全力で取り組んで
いく。



田中 策次郎 たなか さくじろう
議員 創生のみ



こんな質問も
・地域農業の推進
・教育格差の解消



▲物価高騰イメージ図

保育士の配置の 現状を問う

答弁 配置基準を基に
保育を行っている

Q 市内の公立認定こども園
の能美市の対応と保育士
の配置の現状を問う

A 本市では令和6年度から
3歳児及び4歳児以上の
保育士配置を3歳児については
こども20人につき保育士1人の
配置からこども15人に保育士1
人の配置へ、4歳児以上につい
てはこども30人につき保育士1
人の配置からこども25人に保育
士1人の配置へと改正された配
置基準で保育を実施している。

いる。年次有給休暇の計画的な
取得を促進するため、3ヶ月に
2回間の休暇を取るよう推進し
ており、認定こども園において
は、事前に希望を聞きシフトに
組み込むこととしている。



荒井 昌宏 あらい まさひろ
議員 創生のみ



こんな質問も
・能美市国際交流
・協会について



▲市内公立認定こども園の様子

「はまなすの丘」 存続について問う

答弁 老朽化、人材難等で
存続は難しい



佐伯 富美子 さとう ふみこ
日本共産党
議員

Q 「はまなすの丘」を縮小・
廃止する理由は何か

A 能美市町会連合会、根上
地区町会連合会、能美市
医師会の役員に説明を行った。
統廃合決定後、速やかに利用
者・家族に説明を行った。

Q 縮小・廃止を決定する前
に市民の声を聞かなかつ
たのか。被保険者優先の立場と
矛盾しないのか

A 能美市町会連合会、根上
地区町会連合会、能美市
医師会の役員に説明を行った。



▲「はまなすの丘」通所リハビリテーション

Q 高齢者社会のピークに向
けて存続を図るべきでは
する。

A 今後の高齢化を見据え、
被保険者の老後の安心を
守るべく、できる限り施設機能
を存続させるため、統合を実施

湯野こども園＆わかばみどりこども園 新園舎完成！

湯野こども園 (11月29日落成式)



新園舎は鉄骨造りの平屋建てで、屋根には太陽光パネルを設置し、床暖房で快適な空間となっています。

ランチルームを兼ねた多目的ホールや、クラスの仕切りがないオープンフロアで開放感が抜群、クラス看板は九谷五彩で表示され、親の相談に応じるための子育て支援室も設けられています。

園庭には旧湯野保育園で園児が遊んだ山を模した築山があり、小川や田んぼが園児の成長を見守っています。



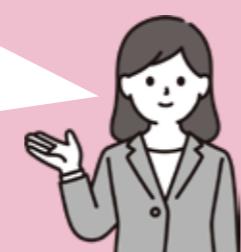
わかばみどりこども園 (12月20日落成式)



2,700坪の広大な敷地に建つわかばみどりこども園は圧巻で、園の中にはサンサンと日の光が入り込み、心まで明るくなるような空間でした。

0歳児、1歳児が同じ保育室、3歳児から5歳児は一緒に保育するということでした。

特徴的なこととして、能美市らしく本格的な陶芸の電気釜があり、ここから芸術家が育っていくかもしれませんと思うとワクワクします。



<p>Q 治公館維持のために市費による負担軽減をどのように図っていくのか</p>	<p>A 建設資材・人件費の高騰により、施設改修費が増大し、補助制度を活用しても町会・町内会の自己負担が大きい実情は課題として受け止めている。町会・町内会の意見もお聞きしながら、補助制度の在り方も含め検討していく。</p>
<p>A 昨今の物価高騰の影響により町会町内会の負担増加が課題である。近隣市の動向や財政状況を見つつ、補助率や上限額の引き上げを隨時検討していく。</p>	<p>Q 高騰する改修費用に対して、既存制度の課題は何</p>

<p>こんな質問も</p> <ul style="list-style-type: none">・施設の在り方 		<p>A 維持管理や改修工事の相談については職員が随時相談に応じている。今後も技術支援や情報提供を強化する。</p> <p>Q 施設診断や修繕計画など、市が専門的な助言を行う仕組みを導入してはどうか</p>
--	--	---



▲地域の絆を育む大切な拠点



Q 通学支援が必要な障がいを持つ中学生にも支援対象を拡充してはどうか。ファミリー・サポート制度の拡充や新制度を創設してはどうか



▲協力会員が学校等の送迎中に車内で掲示する

答 井
老朽化した公民館、
住民負担を減らせ
負担増は課題であり
支援の在り方を検討する



答弁
障がいを持つ中学生も
対象にする

せんだい
仙台謙二議員



通学支援の対象を 中学生に拡充を